

うっしっしいー情報2012

1月市



豊岡農業改良普及センター

1月11日に行われましたセリ市の全体の平均価格は、去勢が40万5千円・雌が42万6千円でした。

普及センター調べ（税込み価格）
本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	19	0.996	372,087	4	0.817	357,788	23	369,600
篠山	4	1.005	392,438	2	0.808	365,925	6	383,600
丹波	26	0.988	446,331	22	0.859	408,211	48	428,859
朝来	11	0.857	344,495	5	0.862	371,490	16	352,931
播磨	14	0.916	345,600	4	0.778	287,438	18	332,675
美方郡	45	0.969	455,723	41	0.827	520,979	86	486,834
豊岡	9	0.939	383,833	17	0.841	412,465	26	402,554
養父	18	0.929	380,975	11	0.813	374,373	29	378,471
県北C	5	0.843	299,670	8	0.736	259,219	13	274,777
市場全体	151	0.953	405,230	115	0.826	425,880	266	414,158

1月市種雄牛別ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	D G	平均価格	頭数	D G	平均価格	頭数	平均価格
1	芳山土井	41	0.989	437,261	33	0.846	506,959	74	468,343
2	福芳土井	25	0.983	441,546	16	0.873	488,775	41	459,977
3	丸宮土井	21	0.924	426,450	9	0.829	399,700	30	418,425
-	平均・合計	151	0.953	405,230	115	0.826	425,880	266	414,158
4	照美土井	8	0.915	415,275	3	0.833	377,300	11	404,918
5	菊西土井	22	0.964	383,107	17	0.866	377,815	39	380,800
6	丸福土井	10	0.918	318,150	12	0.736	424,463	22	376,139
7	丸富士井	5	0.867	343,560	9	0.754	347,317	14	345,975

価格は税込み（10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載）
市場平均以上の種雄牛は芳山土井、福芳土井、丸宮土井となりました。

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳山土井	A++	A++ A+	A+++ A++	D	A+ A	A++ A+
2	福芳土井	A+++ A++	A B	A++	D	C	A+
3	丸宮土井	B A	A+	A A+	A++	A++	A+++
4	照美土井	A	A+	A	C B	A	A+
5	菊西土井	A+	A+	C	B	B	A+
6	丸福土井	D	A+ A	C D	D C	A+	A+++ A++
7	丸富士井	C A	A+ A++	D C	A B	A+ A++	A++ A+++

北部農業技術センター提供（育種価評価は平成24年1月現在）

[すくすく草育ち]



1月市の結果
価格は税込み 普及センター調べ

地 域	去勢			雌			総計	
	頭数	D G	平均価格	頭数	D G	平均価格	頭数	平均価格
すくすく草育ち	5	1.036	470,400	1	0.976	624,750	6	496,125
市場全体との比較	-	0.083	65,170	-	0.150	198,870	-	81,967
篠山	1	1.030	478,800	-	-	-	1	478,800
丹波	1	1.114	533,400	-	-	-	1	533,400
美方郡	1	0.962	465,150	1	0.976	624,750	2	544,950
養父	2	1.036	437,325	-	-	-	2	437,325

1月市では、すくすく草育ちが6頭出場しました。市場平均と比較して”すくすく草育ち”の平均価格は、去勢が6万5千円高で、雌が19万9千円高した。

なお、何か困ったこと（飼養管理、堆肥問題 等）情報（子牛価格 等）や、この資料配布でご不明な点や誤りなどありましたら、下記までお気軽にお電話ください。

豊岡農業改良普及センター 畜産担当まで (0796-26-3708)

最新の育種価が公表されました

県北部農業技術センターより最新の育種価が公表されました。基幹種雄牛とあわせて待機牛の育種価も公表されました。今後の交配計画の参考としてください。

H23年7月評価 H24年1月評価（育種価の変化がないものは矢印表記をしていません）

基幹種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
丸福土井	D	A+ A	C D	D C	A+	A+++ A++
宮弘波	C D	D C	B C	D	D	A+
照也土井	C	A++ A+++	D C	A A+	A++ A+++	A+
丸富士井	C A	A+ A++	D C	A B	A A++	A++ A+++
鶴神土井	D	C	D	A+	A	A+
丸宮土井	B A	A+	A A+	A++	A++	A+++
菊西土井	A++ A+	A+	C	B	B	A+
茂広波	A++	D	A	D	D	B
照忠土井	B	A++ A+	B	A+	A++	A++ A+
芳山土井	A++	A++ A+	A+++ A++	D	A	A++ A+
宮奥城	C B	B C	D	B C	C D	B
千代藤土井	A	A++	D	A	A+	A+++

待機牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
茂康波	C	A	C	B	A	B
伸福土井	C	A	A+	A	A+	A
北俊土井	B	C	D	A+	B	B
北谷松	A	A	A++	C	A	B
芳中土井	A+	C	A	D	D	A
芳悠土井	A++	A	A+	B	A	A+++

北部農業技術センター提供（育種価評価は平成24年1月現在）

特筆すべき種雄牛は丸富士井で、育種価評価が大幅に良くなっているようです。これは後代検定数が7月評価では23頭だったものが130頭となり、その成績が良好であったことが考えられます。丸宮土井の成績も安定しているようです。

待機牛の育種価については、後代検定数が28頭と少なめですが、芳悠土井が良好な成績が出ているようです。